



たちあらい

# 議会だより

No. 126

平成22年5月27日発行

■発行  
大刀洗町議会  
■編集  
議会報発行特別委員会

〒830-1298 福岡県三井郡大刀洗町大字富多819

TEL (0942) 77-4112



5月5日 大堰神社 水天宮大祭 (大えのきの木陰で)

22年度予算決まる	P 2
議案、補正予算	P 5
一般質問	P 6
委員会報告	P 11
町民の声	P 12

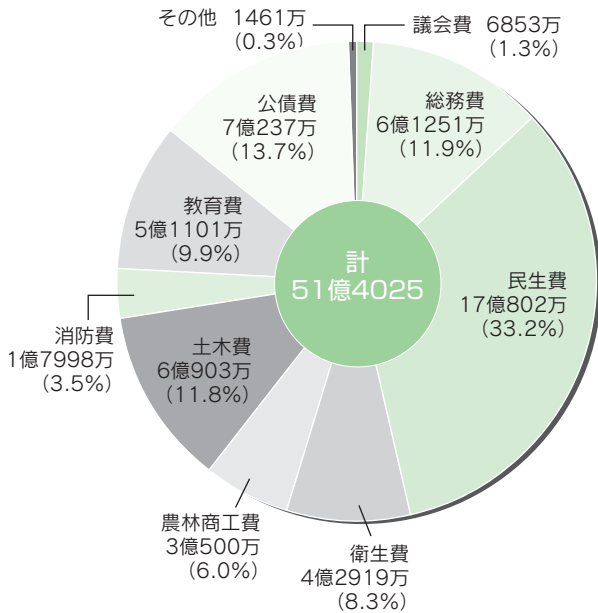
この議会だよりは再生紙を使用しております。

# 78億3132万円

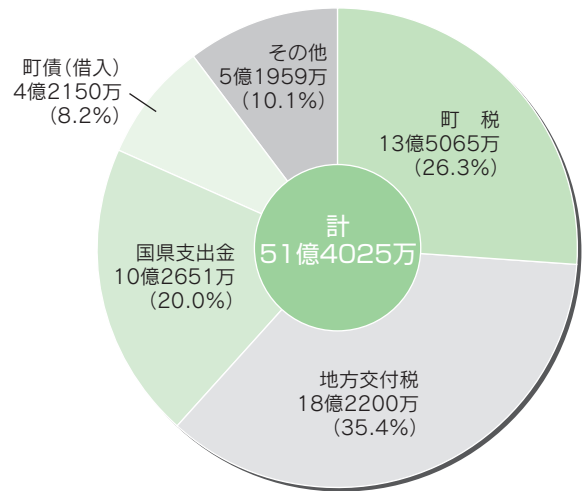
(一般会計51億4025万円、特別会計26億9107万円)

## 〔一般会計〕

●歳出 (単位:万円)



●歳入 (単位:万円)



### 予算特別委員会

## 質疑

#### 支出は適正か

導員とも1台ずつを予定している。

**議員** 「人材育成、地域づくりアドバイザー委託料」とは、具体的には。

**課長** 外部の専門家を活用し、地域づくりのアドバイスを受け、先進地視察など職員の研修を考えている。

**副町長** 地域づくりを推進するため、地域コミュニティの協働運営のやり方などを包括的に指導を受ける。

**議員** 職員の配置に伴い、校区センターにパソコン等を整備することだが、予算計上されているか。

**課長** 補正予算で計上している。センター長、指

**議員** 福岡県市町村職員海外行政研修負担金、この支出は毎年か。また、町の行政に活かされているか。

**課長** 毎年の支出である。昨年は、新型インフルエンザで中止になった。参加した職員は、どのような意義があったか、どう活かすか等の説明、報告をしている。

**議員** クレーマー対策の嘱託職員がいるが活用状況は。

**課長** 警察を退職した方なので、要所をきちんと抑えられて、職員の対応の手助けになっている。また、職員にも対応策を

# 22年度の町の予算は

## ●特別会計

(単位：万円)

	21年度	22年度	比較
国民健康保険特別会計	16億7241万	16億9004万	1763万
大刀洗診療所特別会計	1億0609万	1億0979万	370万
老人保健特別会計	256万	26万	△230万
後期高齢者医療特別会計	1億5595万	1億7081万	1486万
土地取得特別会計	428万	477万	49万
下水道特別会計	7億3726万	7億1540万	△2186万
合計	26億7855万	26億9107万	△1252万

## ●基金の状況

	21年度末見込み	22年度増減見込み	22年度末見込み
財政調整基金	15億3229万	525万	15億3754万
減債基金	5億5823万	226万	5億6049万
農業振興積立基金	1億0162万	41万	1億0203万
地域振興基金	2億2600万	0	2億2600万
下水道施設整備基金	2954万	12万	2966万
教育施設整備基金	2億6031万	106万	2億6137万
水と土保全基金	1001万	0	1001万
消防施設等整備基金	1億0000万	41万	1億0041万
土地開発基金	1億9727万	77万	1億9804万
高額医療貸付基金	200	0	200万
合計	30億1727万	1028万	30億2755万

アドバイザーしている。

議員 学童保育の中で障がい児受入推進事業、この内容は。

係長 多動性などの児童を受け入れる際、職員を多く配置する必要がある。そのための事業である。

議員 老人クラブの助成金が1人300円から500円に増額されたのは。

課長 地域おこし、独居老人の見守りを含め、今まで以上に、生きがい、健康づくりに活発に活動していただくためである。

議員 ブックススタート制度が、新規で実施されるが、その内容は。

課長 新生児に対し、1人2冊の絵本を選択してもらい、配布するもの。

### 町の産業支援を

議員 地域特産品及び観

光開発の為に人件費を計上しているが、その仕事内容は。

課長 高齢者の生きがい対策と大刀洗町のPRのために農産物、特産品の販売に従事してもらう。国の緊急雇用対策費を活用するものである。

議員 小企業等経営改善資金利子補給とは。

係長 町の単独事業で、町内の小規模事業者が運転資金や、設備資金として借り入れる際の利子補給で、上限5万円である。

議員 大刀洗平和記念館に絡めた観光の掘り起こしは検討しているか。

町長 単独では観光は無理。朝倉市、筑前町、久留米の方と連携できればと考える。今のところ、今村の教会を国の文化財の指定にと準備をしている。

事業の今後はどうなる

議員 大堰公園の用地借上料は20年度から3カ年で打ち切るという話であったが、どうなっているか。

係長 地元にも、3年間という話で受け入れるか協議をお願いしているが、回答が無い。

議員 大刀洗公園では、夜遅くまで、若者がたむろし、ごみが散乱して、環境的に良くないと聞か、町への連絡はあったか。

係長 苦情があったので、大刀洗交番に相談して、公園内を巡回してもらっている。また、中学校の生活指導の先生にも、夜回ってもらうなど対応している。

議員 町営の霊柩車運転業務は22年度でやめると聞か。

課長 運転手の確保という面に対応できず、22年度いっぱい廃止をする。

議員 県の直轄事業の市町村負担金(事業費の15%)はなくなるのか。

課長 県の単独事業の道路改築の負担金は無くすと知事が明言している。

学校現場の充実を

議員 小学校も自校炊飯になるということで、パン食は無くなるのか。



よりおいしい給食を(大堰小)

課長 夏休みぐらいい、ガス配管や炊飯釜を整備し、9月頃より自校炊飯を実施する。週3回の米飯給食を軌道にのせて、その後、週4回を検討する。

議員 指導主事嘱託員賃金は、どういう指導をする方で、どういった方を採用するのか。

課長 教育指導目標のチルドレン・ファーストの実現の為に動いてもらい、学校支援本部の立ち上げ

から、学校訪問や教育委員会定例会、学習会、研修会に参加してもらう。南筑後教育事務所で相談員をされている方。

議員 青少年町民、校区民会議補助金、校区民会議20万円、町民会議50万円。校区民会議は、活動費として不足しがちに見える。町民会議の補助金の使途は。

課長 広報の印刷費が主で予算が余ってきている。育成だよりも年2回に減らして良いのではという意見もある。

議員 そういうことであれば、総額の中で配分を考えるべきでは。活動としては校区民会議の方が大切と考える。

係長 内部で検討をする。

国民健康保険会計

議員 医療費の伸びが大きく、一般会計から繰り入れると。

課長 4000万円前後の不足で21年度は赤字決算となる。早期に解消する為に22年度で保険税の値上げと不足分の半額ほどを繰り入れて対応する。

議員 保険税の滞納分は何名で総額はどれくらいあるか。

係長 現年度分の未納も含めて456世帯。金額は9200万円弱である。

議員 何年も滞納を続けている者に対して、どう対応しているか。

課長 滞納世帯の中学生、高校生には、6ヶ月の短期保険証を出すように国からの指導がある。分納に応じない方には、資格証明書を出さざるを得ない。

い。分納に応じてある方は、6ヶ月、3ヶ月の短期保険証を出している。

採決

一般会計、国保会計、後期高齢者医療制度会計、老人保健会計については賛成多数(10対1)で可決。

その他の会計は全会一致で可決した。

# 3月議会

# 国保税を引き上げへ

## 議員の報酬は据え置きで修正

### 暴力団排除条例の制定

福岡県条例の施行にあわせて上程された。町民等が、暴力団員との交際を慎むとともに暴力団を利用しない、金を出さない、恐れないという基本的な事項を遵守することを基本として暴力団の排除を推進するもの。全会一致で可決。

### 大刀洗支所の移転

5月6日から、支所を就業改善センター内に移転する。賛成多数（10対1）で可決。

### 町長、議員などの報酬を改定する条例

報酬審議会から引き上げの答申があつたが、修正案を賛成多数で可決した。（議員の報酬は引き上げず、現行どおりとした）

### 国民健康保険税の改正

全体として税額を上げるとともに、上限額も69万円から73万円に引き上げる。所得が300万円の4人世帯の場合、年間約8%の値上げ。賛成多数（9対2）で可決。

### 非常勤特別職の報酬改正

消防団員などの報酬を一部引き上げる。全会一致で可決。

### 訴えの提起

町営住宅に入居する者のうち2名について、長期にわたり家賃が入らず誠意も見えないため、明け渡しを求める裁判を提起する。賛成多数（10対1）で可決。

## 補正予算

### 一般会計

3億8110万円を減額し、総額56億8195万円とする。

### 国保会計

3006万円を減額し、総額17億6455万円とする。

### 後期高齢者医療会計

減額の主な理由は医療費見込みの減によるもの。納付金の減。いずれも賛成多数（10対1）で可決。

## 人事

事業の主なもの、国からの「きめ細やかな地域活性化交付金」で、本郷小学校の体育館屋根改修工事が2000万円など。賛成多数（9対2）で可決。

老人保健会計、診療所会計、下水道会計については全会一致で可決した。



大刀洗支所が移転した



人権擁護委員の推薦

宮崎 武久氏（再任）

任期は25年6月までの3年間。

全会一致で可決。

を政問  
を問

一

# 一般質問

## 校区センターへの職員配置は



長野正明 議員

議員 住民と共にまちづくり、地域づくりに取り組む専従の職員を各校区に配置をし、校区センターを中心とした新たな地域社会の確立、住民自らが地域の課題や活性化について取り組む支援事業を実施するということがあるが、昨年、社協の指導員が各センターに配置され、その実績も評価も定まらない中、今回、職員を配置する具体的な目的は何であるか。また、

住民への説明、職員の研修はどう考えているか。地域づくり委員会、もしくは協議会の設置も考えられるが、現在の運営委員会との関係はどうなるのか。

### 説明や研修を徹底する

町長 地域コミュニティの活性化を図るため、各校区センターの管理、運営業務に従事するとともに、まちづくり活動を行う団体や住民の自主的な地域活動を支援、育成するもので、地域づくりのあり方については町の考え方を一方的に押しつけるのではなく、地域の皆

さんが自ら議論し、責任と権限を持って決定できるように支援するものである。

### 地域コミュニティの

活性化を図る必要性や地域づくりの考え方、校区センターのあり方などについて関係者の皆さんに、町の考え方の説明を行い、職員の研修については外部講師などを活用し、活

性化のための講演会や、各種研修を実施する。今後の町政運営は、社会情勢の変化や多様化する住民ニーズを踏まえ増大していく行政課題に対し限

### られた財源と職員で対応

していく必要があり、行政の担うべき領域を明確にし、町が実施していくこと、地域で実施していく



各校区センターに町職員の机が (大堰)

一緒にあって取り組んでいくことと仕分けをする必要がある、その為には、一定の権限と責任を有する住民自治組織が考えられる。管理運営委員会に地域づくりの機能を付加するか、別の組織をつくるのか、各地域で議論してもらおう必要があると考

### 病児保育の実施は

議員 核家族化と女性の社会進出の増大により、保育所に通所中の乳幼児が病気、ケガ、及び回復期であることで、自宅での保育ができない期間、一時預り保育、看護を行うことで子育てと就労の両立を支援するものである。一般的には、市町村が民間の医療機関に委託をしているが、大刀洗町

には町立の診療所があるので、本来の診療業務に加えて病児保育が実施できないか。

### 広域的な利用を検討

町長 小児医療は、成人を対象とした医療と違って、特殊性や専門性が必要となることから、看護師や保育士だけでなく、小児科医の確保が望ましいと考える。しかし、大刀洗町独自で小児科医を確保することは大変難しいものがある。平成23年度から久留米定住自立圏の実施事業として、久留米市が委託している施設で広域的な利用ができるように協議を行っている。

# 予算編成の柱は何か



山内 剛 議員

**議員** 本町の22年度予算編成の重点事業並びに制度は、子育て支援や教育環境、地域コミュニティの活性化等があるが、大きな柱はなにか。

## 赤字を出さないこと

**町長** 予算編成については、まずは赤字を出さないで、今の住民の需要を満足させるのが一番大事と思う。かなり厳しい事業確認書を作らせて、厳しく査定している。23年度の予算編成は事業仕分けをやりたい。

**議員** 農業振興については、基盤整備が完了した農地は効果価値型の振興、



役場の今後も注目される

手数料等を値上げするのは行革と言えるか。いま私達が将来の世代に対する責任として、可能な限り子ども達への負担を軽減することが基本であり、「知恵と創意工夫」を持ち出すことが私の理念であるがいかがか。

北部の未整備地区は農業経営者の意向を踏まえ、農地の確保と新たな用途地域への誘導を図るなどが必要ではないか。企業推進費9万5千円は何をするのか。プロジェクトチームを作って独自に自分達の手で取り組む考えはないのか。

**課長** 農業振興費については、一般会計上には表れないものがあり、特に

## 住民負担の見直しは

**議員** 行財政改革で、平成16年を基準として21年度までで累計19億6千万円の財政効果があったとの説明であるが、

水田対策については、毎年度だいたい1億円程度ある。県の協議会の中からJAを通じて各農家に給付されている。企業誘致関係では、事務的な作業費であり、具体的に企業誘致という形になれば、その時点で新たな予算が発生してくると思っ

## 行革とは言えない

**町長** 例えば料金を値上げしたり手数料を値上げすることは行政改革ではないと私は思う。まず単独で生き残っていきけるような条件が赤字を出さないことである。

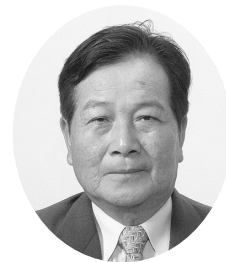
## 事業を考えているか

**議員** もし22年度の途中で早期補正が来た場合、その時に何の事業をしようかと考えるのではなく、事業管理に基づいた予定事業があるのかどうか。

## 学校などに活用

**町長** 町の一般会計予算編成に当たっては、国の交付金を有効に活用するため今後国の追加補正も念頭において予算編成した。対応事業は道路改良工事や学校関係などを想定している。

# 大刀洗川の早期改良を



古賀正巳 議員

**議員** 大刀洗川の改良について。

今までは大刀洗には御陵井堰を含む3つの井堰があつて今回撤去されたが、どういう効果があったか。下流地帯に影響がないか。今年度までに大刀洗川と寺川の合流地点より上流の宝満橋まで

## できるものから実施

**町長** 大刀洗川については下流より改修をしているが、まだ年月がかかるだろうと聞いている。3つの井堰の撤去は、国営かんがい事業に伴い床島堰に統合された為になつたものである。3井堰の撤去により、部分的には流速が早くなる所があるかもしれないが、上流に野間堰がある為、

大きな影響はないと思う。宝満橋から上流については県道整備事務所より大刀洗川と鶴木川の合流地点まで、今年の雨季前までに浚渫工事を実施する予定と聞いている

## ドクターヘリの改善を

**議員** 下高橋にある三井消防署のグラウンドに離

発着するドクターヘリがあるが、その際に黄砂と 同じような状態の土砂が 飛散し、近隣の家庭では 風向きにより土砂の舞い 上がりに苦勞している。 グラウンド内に専門ゾー ンの指定はできないか。 ドクターヘリの利用は緊 急を要するものと理解は している。グラウンドの 管理はどこでなされてい るか。

は区長さんからも苦情が あったところだが、三井 出張所でも対策等をして、 事前に散水量を多くする ように対応をしたと聞い ている。今後飛散防止に ついて広域消防本部と協 議していきたい。アスフ アルト舗装にしたりする といったと思うが、予算の 問題もあり、難しいとこ ろではある。

改善を検討する

町長 ドクターヘリの離 発時の土砂の飛散の件で



大刀洗川の整備作業

大刀洗支所の移転は必要か



森 一雄 議員

現在の支所は、校区の 中央にも位置し、道路の 便も良く、JAの金融機 関とも一緒であり住民の 方々は非常に便利が良い と言われている。

なぜ大刀洗支所を就業 改善センターに移設する 必要があるのか、またど んなメリットがあるのか、 住民サービスの低下にな るのではないか。現在は 正規職員と嘱託職員の2 名だが、今後はセンター

長と職員2名の3名体制 になるのか。

従来どおりの配置で

町長 今年4月から地域 コミュニティーの活性化 を図るため、各校区セン ターに職員を配置し、各 校区センターの管理運営 業務に従事させるとも

なまちづくり活動を行う 団体や住民の自主的な地 域活動を支援、育成して いく仕組みづくりに取り 組んでいきたい。

議会の指導員の2名体制 で推進していくが、菊池 校区については、正規職 員1名、嘱託職員1名、 社協の指導員1名の3名 体制で管理運営業務と支 所業務に従事させること が可能であると考えてい る。

大刀洗支所については、 第3次行政改革大綱の中 でも業務委託を含め支所 廃止の検討を行うとされ ており、メリットとして は、移転することにより 正規職員を1名削減でき ることとセンターを常時 開館に資するものと考え ている。

議員 支所移転した場合、 税の徴収も行うのか。そ の場合セキュリティ関係 はどう考えているのか。

総務課長 税の徴収事務 も行う。

セキュリティ関係につ いては、税務課等と十分 検討し安全に努めていき たい。



改修中の就業改善センター

議員 各校区センターへ 職員を配置し、センター を核として地域づくりを 進めるのは、地域活性化 地域の人材育成や地域の 方々が自ら地域のあり方 を議論する場をつくり、 地域づくりの受け皿とな る組織づくりを進めてい くことについては大いに 賛成である。

しかし、大刀洗支所の 移転については、以前就 業改善センターに移転さ れたことがあり、その時 はセンター施設の目的外 使用ということで今の支 所に戻した経緯がある。

当時、不便になるとし て相当反対があったと聞 いている。



# マニフェストの未実施は



山田英敏 議員

いて具体的な検討内容  
ひとつひとつ実現へ

議員 町長のマニフェストのうち、現時点で実施されていない項目について今後の見通しはどうか。例えば

- ・行政の仕事を改善
- ・女性の意見と尊厳を大切に
- ・公共施設利用料金の近隣市町村と同程度の適正料金の設定について
- ・子育てのお手伝い
- ・お年寄りを守る
- ・農業を先頭に元気な大刀洗町をつくる
- ・地域開発係の設置による効果が出るか。また、担当者
- ・の日常業務について
- ・中小企業経営者の育成と支援の推進状況につ



マニフェストの検証 (広報たちあらい)

町長 行政の担うべき領域を明確にし、事務事業の整理・合理化を図り効果的な行政運営を推進、より一層の総人件費の削減に努めたい。

- ・女性委員の割合も増加しているが、今後とも審議会・協議会の改選時に女性委員の登用を
- ・在宅支援講座の実施について今年度は転倒防止予防講演会等にとりくむ。
- ・農業については大刀洗産ブランドPRとして高速道路パーキングエリアを利用したい。
- ・中小農業経営者の育成と支援は本年度緊急雇用創出事

・公共施設の利用料金の見直しについて、各施設ごとに総合的に検討する。

・未就学児の医療費の無料化は所得制限を撤廃、一部負担についても町の財政状況などを総合的に勘案して、判断をする。

・何でも相談窓口は社会福祉協議会に委託、毎月第3金曜日実施。相談体制の充実を検討する。

## 農業助成の強化を

業を活用、農産物等の特産品の簡易な直売コーナーを設置する。

議員 米の減反部分に付する大豆への助成金は連坦、団地化の条件を満たせば10アール当り7千円の支給だったが、団地化等の制限の撤廃をし、大豆作付をしている小規模農業者も助成金の支給対象とできないか。

## 国の政策を見て検討

町長 米戸別所得補償モデル事業は生産調整参加農家がメリットを受ける方式に改め、生産調整に参加しない農家との不公平感の解消を図るもの。

経営所得安定対策は継続される予定。大豆作付農家への助成は本年度は継続、来年度は国の対策の推移を踏まえ検討をする。

議員 国保税について、町が一般財源から一部繰り入れを行ったことは評価できるが、残りの2000万円をまたも値上げという形で住民に押し付けており到底納得できない。

高すぎる国保税を抑えるためには、(1)国にお金を出させること(2)町が独自にお金を出すこと(3)予防と早期発見、早期治療などで健康づくりを推進し、医療費の総額を縮減すること。この3つを同時に推進すべきである。今回は(3)の取り組みについて問う。住民が健康になり、かつ医療費も抑制できるの

町長 健康増進と医療費縮減のため、疾病の早期発見、早期治療の普及啓

# 医療費縮減のために何をすべきか



平山賢治 議員

であればそれに越したことはない。例えば保健指導であるが、保健師を増員し、重症化を防ぐための個別指導にあたれば人件費以上に医療費縮減の効果上がるのではないかと。すなわち人的投資を行って5年、10年の長期的視野で健康づくりを進める必要があると思うかどうか。

また、窓口の高い一部負担金が受診を抑制し、重症化を招く例もある。負担金の軽減制度の整備を進めるべきではないか。たばこの害と分煙の推進が言われて久しいが、町の施設は今後どうするか。

## 健康増進を図る

発に努める。今後、肺がん、胃がん、特定健診を無料ですることで受診率の向上を図るとともに、

医師会などとの連携と、健康づくりの推進と医療費の軽減を図りたい。

保健師の増員などの政策についても、最小の経費で最大の効果が出せるよう総合的に検討したい。

一部負担金の減免については、近隣市町村でもほとんど実施の例がなく、国の動向を待ちたい。

喫煙については、役場庁舎内では4月1日から全面禁煙を実施したい。

町立の施設についても同日に実施の方向で協議する。

給食の嘱託化はどうなる

議員 日本一の給食を目指すところがあるが、具体的には、また、22年度から調理員の嘱託職員化を進めるとあるが、安全で上質の給食を保障するために、正職員による責任と雇用の安定で熟練を育成

することが必要ではないのか。

直営を維持し努力

町長 日本一の給食とは、地元産の新鮮で安全・安心な食材で、栄養バランスが考慮されたできたての美味しい給食を、保護者の負担をできるだけ抑えた形で提供することだと考える。

非正規職員で調理するからといって、責任ある体制がとれないということとはないと考えるし、調理の責任はこれまでどおり町にある。民間に委託するよりも直営で嘱託化したほうが責任を持って

おこないやすいと考慮した結果である。

議員 給食に限らず、いま全国の自治体で職員の非正規・低賃金化が進んでおり看過できない。これは安心して働ける労働条件とは言えず、労働の質の向上、熟練の育成の面からも大いに問題であるから今後も改善を求め

ていく。

地域づくりを問う



花等順子 議員

議員 校区センターに職員を配置して、センターを核とした地域づくりがなされるのは必要であるが、あまりに唐突で住民の合意形成もまま地域に丸投げの感がある。そこで、町長の地域づくりの構想を問う。

町長 今後の町行政は、地域のことは地域が責任と権限を持って決定することが望ましいと考える。一定の権限と責任を有する住民自治組織を設置し、地域のことは地域で決定

議員 地域づくりには、住民の合意形成の前に職員と町民に伝わらない。職員間の議論もあつてないようだが、またセンター長の庁内における位置づけは、副町長 職員と一緒に情報共有に努めながら庁内合意を図る。地域づくりの必要性を職員が十分に認識するよう研修をする。

センター長は、総務課付となり、総務課長の指揮命令を受ける。地域づくり係長が情報の共有をはかり、サポートしていく。

議員 他の自治体では、

月10万円程の非常勤館長と嘱託職員が2名配置され、年600万円程の経費で3人体制がとられ、夜間も土日も対応できると思う。今回の配置については、課長クラスでなく40歳前後の若い職員のほうが地域も活性化するのではないか。

副町長 地域づくりは初めての事業であり、町にも地域にもきちんと物が言える経験豊かな職員を配置したいと考える。

議員 地域づくりは住民の声を聞く、ボトムアップでやらなければならぬと思うが、課長クラスがセンター長になるとトップダウンで実施されるのではないかと疑ってしまう。

副町長 センター長が校区のトップではなく、実質的な作業リーダーとして、地域の人が議論する場をつくり、地域のこと

は地域で決定できるように仕組みづくりを手伝う職員として配置する。

議員 管理運営委員会と地域づくり組織の関係はどうなるのか。

町長 センターに配置された職員を中心に組織づくりも組織の名称も含めて議論してほしい。

議員 地域コミュニティ活性化のために利用できる統合補助金を交付することを検討することだが、統合補助金とは何か、何に使うのか、その原資には何を充てるのか。

町長 将来的にはある程度使途を限定しないような交付金なり補助金を校区に渡して、校区内で優先順位をつけて必要などころから使っていく必要がある。原資には町費を充てる。

○他に、男女共同参画推進の行動計画作成について質問した。

# 委員会報告

## 地域づくりの取り組み

総務文教厚生委員会

町長の「地域づくり」構想を受けて、委員会では、2月25日に荒尾市の

「地域元気づくり事業」とみやま市の「校区単位のみちづくり」の中で、南校区まちづくり協議会の取り組みを調査、視察した。

荒尾市の取り組みを報告する。

目的 多くの人が参加して地域の課題解決や地域資源を活かした身近なまちづくりを考え実践することで地域の元気を創出し、新しいコミュニティを構築し、住民自治の拡大を図る。



豊かな経験を学ぶ (みやま市)

事業 小学校区ごとに市民によるまちづくり組織（地域元気づくり委員会）を設置して住民の視点から「地域元気づくり」を策定する。

委員会でワークショップなどを実施し、十分な合意形成を図りながら地域の現状や課題を確認し、将来の目標や具体的な活動を検討。

行政 くらいいきいき課（市民応援係：4人体制）を設置し、情報提供・会議進行・関係各課との連絡調整をする。

全庁体制で取り組む。副市長を会長に係課部長で推進会議を組織する。

職員を地域ごとに数名配置し、住民として地域づくり委員会に参加する。

平成15年から地域コミュニティに取り組み、年々参加校区を増やしながらかさまぎまな活動を展開しているが、地域づくりは一朝一夕にはならず、地道な取り組みが必要だと痛感した。

平成15年度に2校区がモデル地区としてスタート、次年度より2校区ずつ着手し、現在10校区で実施。

荒尾市は校区センターのないところが多い中、平成15年から地域コミュニティに取り組み、年々参加校区を増やしながらかさまぎまな活動を展開しているが、地域づくりは一朝一夕にはならず、地道な取り組みが必要だと痛感した。

一年目 地域元気づくりプランの作成

二年目～六年目（補助金50万円）

## 開かれた議会づくりへ

議会運営委員会、広報委員会

研修先 長崎県長与町議会  
会 定例会の運営について。

：質問時間は答弁を含めて60分以内、一問一答方式

○会期の決定

○傍聴者数：50～60名程（のべ）

一般質問日：会期初日より2日～3日目。  
休会日：基本的に休祭日のみ。

議会だよりは広報委員会を構成し、定例会の開会前から分担を決定している。

○議案審議のながれ：委員会付託が基本

○一般質問は1人1ページ固定で、発言者が責任をもって原稿を提出する。議会閉会后編集会議を開き、すみやかに発行する。

○請願陳情の取扱い：請願の議決の結果は請願者に通知する。会議で可決された決議、意見書等の関係機関への送付は、議長に一任する。

全ページをカラーとして、少しでも住民に読んでいただける紙面を目指して日々苦心されていた。大刀洗町としてもより民主的な議会運営と広報づくりにつとめたい。

○一般質問（制限時間等）

（山内、平山）

（花等）

# フォトニュース



フラワーガーデンウォーキング(4月10日)



地域づくり説明会(5月7日)

## 議会を傍聴しませんか

### 6月19日(土) 一般質問予定

一般質問終了後、議員との意見交換会を開催します！  
ぜひ一度、傍聴にお越し下さい。

お問い合わせ  
議会事務局 77-4112

表紙撮影：渡邊美佳  
(大刀洗文化協会写真部)  
「金魚、きれいだね!」と  
楽しそうな仲よし兄妹でした。

# 町民の 声

## 今日を生きる

高樋 久保 恵子さん



大刀洗に住んで28年！  
昭和58年に義父の突然の死により対馬から夫の実家がある高樋に帰って

来ました。それまで暮らしていた漁師町と比べ、筑後平野の緑に囲まれた風景は今までとはまったく違うものでした。漁業と農業の生活環境の違いに慣れるまで苦労しましたが、郷に入れば郷に従え！周りの皆様に助けられ今日に至っています。

何事もなく暮らしていたある日、左胸に異変を感じ病院でみてもらったところ、「乳腺炎」の診断でした。状態が良くなることなく一年が過ぎ、さすがにおかしいのでは？と他の病院でみてもらったところ、即、乳癌の宣告でした。しかも恐ろしいことに三期末の進行癌！頭は真っ白になり、パニックに。

私ももしもの事があつたら子供達は？主人は？母は？・・・12年前の事でした。抗癌剤で吐き気、頭痛、髪は抜け落ち辛い治療の毎日でした。が、同じ病気で苦痛を分け合った皆さんの人との出会いはありました。何よりも家族の温かさ、優しさに癒されました。体は癌に傷つきましたが、心まで癌になる事はなく、むしろたくさんの方々の思いやりに支えられ幸せだと思っています。

今も病院の定期検査、薬等は欠かさずこの12年続けています。現在60歳！仕事も定年を迎えましたが、まだまだ頑張っています。日々目的を持ち今日を生きようと思っています。

自治体の実施しているがん検診は4代からとなつていますが、最近30代の方にも発病が多くなつてきている時代です。人ごととは思わず、皆様も積極的に検診は受け早期発見・早期治療でよりよい人生を送って下さい。

# 編集

# 後記

いま各地で「住民主体の地域づくり」が進められており、大刀洗町でも職員の校区配置などが動き始めました。  
やり方はいろいろあるでしょうが、最も大事なことは情報の共有ではないでしょうか。行政が情報を徹底的に公開し、住民と情報を共有し、行政と住民が同じ目線で地域づくりを話し合わなければなりません。  
これから大量退職の時代に入り、多くの有能な人材が地域に帰ってきません。そうした人たちが力を最大限に発揮できる地域づくりを進めたいものです。  
(平山)

- 議会報発行特別委員会
- 委員長 平山 賢治
  - 副委員長 多田 時治
  - 委員 花等 順子
  - 委員 古賀 正巳
  - 委員 長野 正明
  - 議長 平田 一成